

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|--|---|---|
| (宛先) 京 都 府 知 事 | | 平成26年10月8日 |
| 住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー | | 氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日本マクドナルド株式会社 代表取締役社長 サラ L. カサノバ |
| 環境マネジメントシステムの名称 | 独自のシステム(マクドナルド エネルギーマネジメントシステム) | |
| 適用範囲 | 直営、フランチャイズを含む京都府立地全店 | |
| 導入年月日 | 平成23年 6月 1日 | |
| 認証番号 | - | |
| 基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動の緩和に向けて、エネルギー資源の効率的な使用を行います。 ・循環型社会構築を求めて、資源の有効活用と再生利用の推進を図ります。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。) | <p>目標は各店舗ごとに独自に設定されます。 本年は全体で対前年15%削減を目標とし、各店舗タイプによって標準タイプ別24%、その他タイプ別13%、一般店舗10%、小型店舗5%、を基準として設定されます。</p> <p>目標設定は本社から提供される各種ツールを使用し店舗状況を把握した上で決定されます。 ツール例：ユーティリティ診断ツール、ユーズンコンパリソン、ファイアアップスケジュール、エネルギーアワー等</p> | |
| 目標を達成するための取組の内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・機器のON/OFF管理 (計画されたON/OFFスケジュールで実行) ・エアコンコントロール (送風・冷房調整、使用場所の最適化、温度調整) ・コンデンサー清掃 (冷却ユニットのコンデンサー清掃、冷却効果効率化) ・ユーティリティインベントリー (エネルギー使用状況の確認 → ユーズンコンパリソンでの評価) ・ブランドメンテナンス (スケジュール化された通常メンテナンスの実行) ・客席温度計設置を細かく行い、木目の細かい温度コントロールを実施 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | <p>ユーティリティ診断ツールによる目標設定を行い、取り組み内容に順じた活動を実施。 本年は節電対策として、エアコンの入れ替え、LED照明の導入を改装店舗を中心に導入を展開、空調温度設定は冷房28℃、暖房20℃を基準に実施中。</p> | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | <p>店舗ではユーズンコンパリソンを使ってDaily単位で使用状況を確認し、計画に対する評価を行い、アクションの実行にフィードバックをかけて作業を進めています。 平成23年以降で、使用が不要な電力等の削減は着実な効果を示しており、原単位において増加率▲14.38%となっている。もとよりエネルギーマネジメントの推進はマニュアルとして実行しているが、東日本大震災以降でそれが更に推進されたと考えている。</p> | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | <p>店舗運営上の各種法令に関しては内容に準じて遵守しています。 事業活動に関する法令の遵守状況において、これまで違反及び関連行政当局からの私的はございません。</p> | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | <p>環境マネジメントシステムの評価は、原単位レベルでの確認を行い、平成24年度が前年の東日本大震災時の17.9%削減と比較し、16.1%と若干下がったものの原単位分母である客数が減少する傾向に中であつたため、その成果は見られたと判断し、平成25年度も同一のシステムによって運用した。</p> | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。